

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題2-ブトキシエタノールのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する延長毒性試験－14日間試験番号

91930

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.204 「魚類延長毒性試験－14 日間」(1984 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 2-ブトキシエタノール
- 2) 試験生物： ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 3) 生物数： 10尾／1試験区
- 4) 暴露期間： 14日間
- 5) 暴露方式： 流水式(連続的に試験液を供給する方式)
- 6) 試験濃度： 100、50.0、25.0、12.5 mg/L(公比：2.0)及び対照区
- 7) 連 数： 1試験区につき1連
- 8) 試験液量： 1試験容器(1連)につき1.8 L
- 9) 試験水温： 24±1℃
- 10) 照 明： 室内光、16時間明／8時間暗
- 11) エアレーション： なし
- 12) 試験液中の被験物質の分析： ガスクロマトグラフィー(GC)  
(0日目、7日目及び14日目)

結 果

- 1) 14日間の最小致死濃度 > 100 mg/L
- 2) 14日間の最小作用濃度 = 50.0 mg/L
- 3) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC) = 25.0 mg/L
- 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50) > 100 mg/L
- 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50) > 100 mg/L  
(上記濃度は、全て設定値に基づく値)